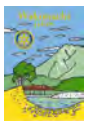
持続可能なインパクトを生み出そう

脇町ロータリークラブ

国際ロータリー第2670地区　徳島第2分区　｜　WAKIMACHI ROTARY CLUB



週　報　　第9回例会　No.2993　／　2026年9月3日（木）

出席状況	会員総数	出席人数	出席率
	37 名	27 名	73.0 %

◎ メークアップ

なし

◎ 会長挨拶

■ 脇町RC　千葉会長

脇町は、かつて脇城の城下町として栄えた町で、南北に通る道はその城下町の名残を今に伝えています。吉野川には昔、船着き場もあり、人や物が行き交う大変にぎやかな場所であったと聞いております。江戸時代には南町を中心に藍商で大いに繁栄し、今も町並みの中に当時の面影を感じることができます。

また、城下町には寺町も形づくられ、浄土宗や浄土真宗、真言宗など、さまざまな宗派のお寺が集まっています。宗派は違っても、それぞれのお寺が長い年月にわたり地域の人々の暮らしを見守り、町の歴史を支えてきたのだと思います。そうしたところも、脇町の魅力の一つではないでしょうか。

一方で、この地域は吉野川に近いことから、昔からたびたび洪水にも悩まされてきました。安楽寺でも、先代の住職が本堂を建て直したいと二度にわたり木材を集めたものの、そのたびに大水に遭い、志を果たすことができなかったという話が伝わっています。その後、平成7年に大修復が行われ、現在の本堂と会館へとつながっています。

近年の北陸地方の水害の様子を見ていますと、徳島とどこか地形が似ているようにも感じます。豊かな水や土地は、普段は私たちの暮らしに多くの恵みを与えてくれますが、ひとたび災害が起これば、大きな力となって私たちに迫ってきます。自然の恵みと災害の危険性は、まさに表裏一体なのだと改めて感じます。

徳島では昔から治水に力を注いできました。「徳島は道はできんけど、橋と堤防はできた」とも言われますが、それだけ先人たちが水と向き合いながら暮らしてきたということなのでしょう。

私たちも、こうした地域の歴史を知り、先人の知恵に学びながら、日頃から備える気持ちを忘れずにいたいものです。そして何より、皆さまが元気に、安心して毎日を過ごされることが一番です。

季節の変わり目でもありますので、どうぞお体にも十分お気をつけいただき、今週も皆さまにとって良い一週間となりますことを願っております。ありがとうございました。

◎ 幹事報告（北川副幹事）

到着週報	鴨島RC、阿波池田RC、洲本RC
到着書類	なし
報告事項	・財団ニュース9月号が届いております。 ・ガバナー月信9月号が届いております。 ・令和8年度熊本地震 第2670地区内中間報告が届いております。 ・全国ロータリークラブ野球大会コミッショナーより、令和8年熊本地震義援金のお願いが届いております。 ・洲本RCより公式訪問報告書を拝受しました。回覧いたします。 ・9月24日に洲本RCより、廣島茂雄様、舛田一夫様、浅井泰志様が70周年のお礼に来られます。
連絡事項	・次回例会は9月10日（木）夜間移動例会となります。 ・昼の例会はありませんのでご注意ください。 ・本日例会終了後、理事会を開きます。

◎ 委員会報告

■ 親睦委員会　足谷会員

【9月誕生日】　宮本会員、木下会員
【奥様誕生日】　香西会員、三谷会員、細川会員、藤原武志会員、木下会員
【結婚記念日】　六車会員

◎ 卓話（外部卓話　特定非営利活動法人スポーツ巡回ネットワーク　理事長　黒部 雅統　氏）

「少子化に取り残された子どもたちを救う」

皆さんがお子さんやお孫さん、地域の子どもたちに願うことは何でしょうか。きっと「健やかに、元気に、楽しい毎日を過ごしてほしい」という、ごく当たり前のことではないでしょうか。

私は現在、NPO法人スポーツ巡回ネットワークの理事長として、離島や山間部などの過疎地域に暮らす子どもたちに、スポーツを通じた交流の機会を届ける活動をしています。

過疎地では、全校児童が数人、時には一人だけという学校もあります。私たちにとって当たり前だった「友達と遊ぶ」「喧嘩をする」「協力する」「みんなで一つのことに取り組む」という経験が、そこでは当たり前ではありません。

ある全校児童一人の小学校で、その子が初めて他校の子どもたちと交流することになった時、校長先生が「今日、何がしたい？」と尋ねました。その子が答えたのは、

「前ならえをしてみたい」

という言葉でした。

サッカーがしたいでもなく、ゲームがしたいでもなく、「前ならえをしてみたい」。この言葉を聞いた時、私は大きな衝撃を受けました。私たちが何気なく経験してきたことさえ、できない子どもたちがいるのです。

また、小規模校では、子どもたちが地域の中で褒められ、大切に育てられる一方、中学校に進学して大勢の中に入った時、初めて他人と自分を比べ、自信を失ってしまうこともあります。子どもの成長には、勉強だけでなく、同世代とのコミュニケーションや集団の中での経験がとても大切だと感じています。

徳島県内でも児童数の少ない学校は増えています。江原北小学校も現在、全校児童はわずか2人で、休校が決まっています。私たちは10月から2月まで、体育などを通じて継続的に子どもたちと関わる予定です。

ただ、私たちNPOだけが行けば解決するものではありません。子どもたちには、もっといろいろな人と出会い、話し、一緒に過ごしてほしいと思っています。

ぜひ皆さんにも一度、江原北小学校の現場に来ていただきたい。子どもたちと一緒に給食を食べ、校舎や校庭で過ごし、「全校児童2人で一年間学校生活を送る」ということがどういうことなのか、実際に感じていただきたいと思っています。

私は、寂しい思いをしている子どもを一人でも取り残したくありません。

スポーツをきっかけに人と人をつなぎ、学校と学校をつなぎ、地域と地域をつないでいく。そんな活動を、これからも全国へ広げていきたいと思っています。

◎ ニコニコボックス

千葉会長　香西会員　六車会員　藤原武志会員　細川会員　三谷会員　宮本会員

◎ 次回例会

2026年9月10日（木）　18：30～　焼肉GG

徳島県美馬市穴吹町三島三谷1202−1　（大人5,000円　子供2,000円）

★ 夜間移動例会のため、昼の例会はありません

◎ 次回プログラム

足谷例会

☆ 次の会員は例会欠席でした。

岡本会員・笠井博会員・笠井稔史会員・兼西会員・木下会員・白川会員・豆成会員・友成会員・西村会員・山本会員

☆ 次回例会の出欠は、鉄野出席委員長まで連絡してください。

◎ 今週のええ言葉

寂しい思いをしている子どもを、1人も取り残さない

（注）過疎地や小規模校の子どもたちに寄り添い、スポーツを通じた交流を届け続ける黒部氏の情熱あふれる決意の一言。